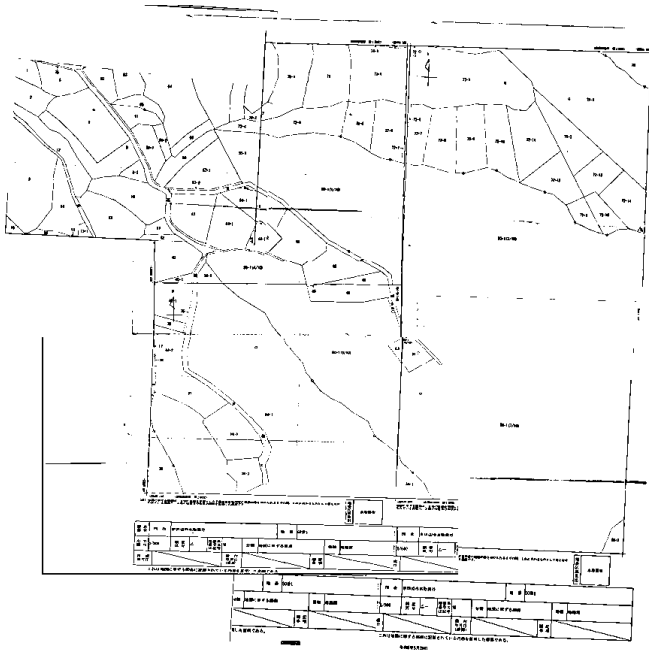


●里山農園の地番が判明

これは里山農園の地番を法務局にてかけて数枚の地番地図を手に入れておられた太田さんから提供されたものです。これまで幾度も所有者の大村さんに菰谷の地番をお聞きしましたが分からないとの返答でしたが今回やっと地番が判明しました。口頭でこれまで通り使ってもいいよと返答をいただいておりますが、第32回通常総会で文章で約束しておくべきで、使用させていただく里山の会が法人であって、個人関係で据えるべきでなく手続きを踏んだ上で使用することが当然であることでした。手続きを進めていく上でネックだったのが地番でしたので、これで正式な契約書ができる条件が整いました。提供ありがとうございました。



●先の週刊ニュース 1134号で外国の人が木津川の中聖牛の視察に来られますとお報せ致しました。



実はフランスの人で現在岐阜県大垣市に在住されているフローリアン・ガデン (1987-) という男性の方でした。4月23日の正午過ぎに事務所に来られた森島さんに玉水浜に出かけていただきました。竹蛇籠や中聖牛に集まってきている生き物の調査観察を目的にしてそれを絵に現したいとの事だったのでワンドも案内いたしました。この日は前夜に降水があつて

木津川本流の水位が上がっていましたので厳しい観察調査になりました。4日後の26日に左のような絵が添付されたメールが届きましたので紹介させていただきます。これを里山の会で自由に使っていいとの言葉が添えてありました。

●第32回通常総会で無理をせず例年通り進めましょうと決めました。

出席者は社員で 伊藤千恵子 佐藤誠 湯川幸子 小川芳也 森島保 金田徹 播川司 有田勉 近藤宏一 山村武正 山下茂 (木下昌也) (木下勉) 出席 11人 委任状 12人 無届欠席 8人、議長に有田勉氏 記録係を播川司氏と伊藤千恵子氏を選んで議事進行。第1号議案では各務ヶ原市や岐阜市でのイタセンパラの学習会成果が強調され、原案通り承認され、第2号議案の決算報告と第3議案の会計監査報告は異議なしで承認されました。第4号議案の2026年度方針案の内「4つの課題」の里山農園対策では文章での賃貸契約書の必要が強調されました。次の木津川の業務契約は撤退する提案は



4:5で原案が否決され、理事会で再検討となりました。続く会計担当者の必要性は認められたが選定に至らず、現状維持となります。そして4つ目の事務処理については原案通り現状が再認識されました。4号議案には一部反対表明もされましたが現状の認識は深まりました。5号議案の予算案は異議無く決定されました、議長の大奮闘で全議案が決定され降壇されました。議事が終わった後に、11月14日の30周年記念の実施日について会場確保の都合で11月15日(日)に変更報告がされて了解されました。

●総会で中心議題として提起された4つの課題のAIによるまとめ

1 里山農園対策

① 里山農園対策について(議案第1号)

1-1. 背景

大村幸正氏・その兄の妻や南恵美子氏の協力により、約40年間放棄されていた田(里山農園)の使用が許可され、19枚の田圃を復元。

1-2. 土地使用の現状

1・2・9号地(大村幸正氏所有):口頭で無料使用。

3~8号地(大村義信氏所有):幸正氏の口利きで無料使用。

10~14号地(南富恵美子氏所有):山村武正が口頭で使用許可を得て管理。

1-3. 現在の課題

地主であり理事でもある大村幸正氏が脱退し、口約束による土地使用の継続が不透明。会員の高齢化・体力低下・人手不足により、維持管理が厳しくなってきた。

1-4. 提案(議案)

継続が困難と判断される場合、更地に戻して返却する。

地主が施設の譲受(有償・無償)を希望する場合は、希望に応じて譲渡する。

2 木津川希少種植生調査管理業務

② 木津川希少種植生調査管理業務について(議案第2号)

2-1. 背景

発足以前からの調査実績をもとに、京都府レッドデータブック掲載種の保全要望に応え、国交省が業務として発注。全国的にも先駆的な取り組み。

2-2. 現在の課題

調査・管理は可能だが、除草・運搬などの重作業が高齢化で困難。

会の運営を支えてきた重要な収入源だが、体力的に継続不可能。

2-3. 提案(議案)

本業務から撤退する。この項について議長権限で採決を行った結果、**4対5で否決された**

3 会計係選定

③ 会計係の選定について(議案第3号)

3-1. 背景

発足以来、会計係の不在が最大の弱点と指摘されてきた。

袖岡勝氏退席後、正式な会計担当が不在。

小川麻衣氏の事務処理就任により、年度末処理は改善。

3-2. 現在の課題

正式な会計担当者が選任されていない。

人事の硬直化により、改善策が進まず、惰性的な運営が続いている。

3-3. 提案（議案）

会計担当者を正式に選任する。

4 会運営と事務処理

④ 会運営と事務処理の現状(報告事項)

4-1. 過去の運営

毎週水曜に事務局会議を開催し、活動の振り返りと企画を実施。

初期 10 年：木津川希少種保護の調査に情熱を注ぎ、活発に活動。

中期 10 年：記録の「見える化」が進み、多くの出版物を刊行。

20 年以降：里山農園を中心に活動し、国交省業務も安定的に受注。

4-2. 現在の課題

改善提案がなく、課題の繰り返しに終始。

高齢化・体力低下・後継者不足が深刻化。

⑤ 2026 年度 活動方針案(議案第 4 号)

5-1. 外部環境

京都府「交響プロジェクト交付金」が 2026 年度は予算化されず、運営が厳しい。

国交省業務も体力的に継続困難。

会員減少により自主財源も縮小。

5-2. 内部状況

若手の活動が芽生えつつあるが、高齢化による限界は避けられない。

5-3. 提案（議案）

2026 年度は例年通りのイベントを無理のない範囲で実施。

新規事業にはこだわらず、余裕ある運営を行う。

●夏野菜の植付けをします。 5月9日(土) 10時から

里山農園の3号地にピーマン、シントウなどの夏野菜の茎を植えようと考えています。お手伝いをお願いします。

●ギンナン(藤九郎)が芽を出す。

岐阜の方からもらったギンナン(藤九郎)の挿し木(3月10日に行った)から7週目に新しい芽が顔を出してくれました。金田さんがお世話してくれています。

